

令和3年度第11回

登別市教育委員会会議録

日 時 令和4年2月24日（木）午後4時30分

場 所 登別市民会館 小会議室

## 第11回 教育委員会議事日程

1 日 時 令和4年2月24日（木）午後4時30分

2 場 所 登別市民会館 小会議室

3 議 案

報告第16号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について

4 情報提供

- (1) 令和4年度教育行政執行方針について
- (2) 市内小中学校の令和3年度卒業式及び令和4年度入学式の日程について
- (3) 令和3年度登別市全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
- (4) 北海道登別明日中等教育学校 市内小学校受検状況について
- (5) 市内小中学校における新型コロナウイルス感染症の対応について

5 出席者

(教育委員会4名)

教育長	武田 博	委員	赤井 秀輝
委員	堅田 裕	委員	木村 雅美

(事務局11名)

教育部長	堀井 貴之	教育部参与	中島 英治
教育部次長	近藤 正嗣	総務グループ総括主幹	近間 聡史
建築主幹	逢坂 義人	学校教育グループ総括主幹	笠井 康之
学務主幹	中井 英和	社会教育グループ総括主幹	重山 大介
文化・文化財主幹	菅野 修広	図書館長	綿貫 亨
総務グループ主査	蓬田 匡俊		

**武田教育長**：ただいまの出席委員は4名であります。定足数に達しておりますので、令和3年度第11回教育委員会を開会いたします。

本日の議事については、報告1件となっております。

最初に、報告第16号「登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について」を議題とします。

事務局からの説明をお願いします。

**近間総務グループ総括主幹：**報告第16号「登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について」、説明させていただきます。

議案書の1ページをご覧ください。市議会定例会提出議案、令和3年度一般会計補正予算（第13号）及び令和3年度学校給食事業特別会計補正予算（第1号）、並びに令和4年度一般会計予算、同じく令和4年度学校給食事業特別会計予算に関する意見について、議案書2ページのとおり臨時代理を行いましたので報告を行い、承認を求めるものであります。

その内容についてであります。はじめに、令和3年度一般会計補正予算（第13号）及び令和3年度学校給食事業特別会計補正予算（第1号）について説明いたします。

毎年度、各会計の最終補正予算につきましては、執行残などを精査するものが主なものとなっております。本年度も同様の内容となっております。

議案別冊1ページから3ページが、令和3年度の一般会計会計及び学校給食事業特別会計の補正予算の概要となっております。このうち1ページから2ページが、令和3年度一般会計補正予算（第13号）の補正概要のうち、教育委員会関連部分となっております。

1ページをご覧ください。1ページは歳出の概要となっております。決算見込みに基づき予算減額を行うものが主となっております。新型コロナウイルス対策等学校教育活動経費につきましては、コロナ禍での学びを保障する趣旨で学校保健特別対策事業費補助金が追加措置されたことから、小中学校の同活動経費を補正するものであります。

また、2ページは歳入の概要となっております。歳出予算に係る特定財源として、国庫補助金及び財産収入を予算措置するほか、歳出予算の減額補正に基づき、市債を減額するものであります。

続きまして、議案別冊3ページは、令和3年度学校給食事業特別会計補正予算（第1号）の概要となっております。

こちらにつきましても、決算見込みに基づき、歳入歳出予算及び市債の借入限度額を減額するほか、来年度当初から契約を行う、学校給食配送業務委託料について、本年度中に契約事務を行うため、債務負担行為を設定するものであります。

続きまして、令和4年度一般会計予算及び令和4年度学校給食事業特別会計予算については、近藤次長より説明いたします。

**近藤次長：**議案別冊の4ページをご覧ください。

令和4年度各会計予算の総括表になります。

市全体の予算総額では397億7,230万円となりました。昨年度と比較して3.8%の増額となっております。

また、学校給食事業特別会計については、3億3,920万円で、昨年度と比較して7.5%の減となっております。

5ページをご覧ください。

教育費は総額で8億9,939万円となりまして、昨年度と比較すると2,331万7千円増で、率にして2.7%の増となっております。

次に、令和4年度予算にかかる事業のうち、主な事業、新規の事業、内容が大きく変化した事業について、概要を説明いたします。

まずは、総務グループの事業について説明します。

7ページをご覧ください。

「小学校校舎等改修事業費」において、幌別西小学校と若草小学校の屋内運動場の照明を、省エネルギー効果の高いLED照明への改修と令和5年度に実施予定の幌別小学校校舎の外壁や屋根防水などの予防的改修に向けた実施設計を行うこととしております。

また、「中学校校舎等改修事業費」では、幌別中学校と緑陽中学校の屋内運動場の照明を、小学校の屋内運動場と同様に、LED照明への改修を実施することとしております。

次に、学校教育グループの事業について説明します。

8ページをご覧ください。

「スクールカウンセラー活用事業費」において、スクールカウンセラーの配置拡充や各種相談体制の充実を図ってまいります。

また、「統合型校務支援システム導入事業費」では、教職員が校務で作成する書類や資料を統合管理・運用する校務支援システムを使用し、業務改善や効率化を図ってまいります。

次に社会教育グループの事業について説明します。

9ページをご覧ください。

「市民会館整備事業費」において、現在策定中の登別市教育施設等個別施設計画に基づき、地下タンクライニング工事及びLED照明改修工事に向けた実施設計を行います。

また、「青少年育成指導経費」では、新たに「子ども 110 番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施します。

「郷土資料館耐震診断事業費」では、郷土資料館の長寿命化等に向けた検討を進めるため、耐震診断を実施します。

「アイヌ文化振興経費」では、引き続き、市公共施設へアイヌ文様のタペストリーを設置するほか、知里幸恵没後 100 年を記念し、小学校 2 校と市民会館において、一人芝居『神々の謡』を上演するなどの事業を実施します。

「生涯スポーツ及びスポーツ関連団体の育成経費」では、未就学児から小学校を対象に、ボールゲームを通じて、スポーツの楽しさ・魅力を再発見してもらうため、トップアスリートとのふれ合いや指導を受ける SOMPO ボールゲームフェスタを実施します。

「地域運動部活動推進事業費」については、令和 3 年度から実施している地域運動部活動の拡充に向けて、取組を進めてまいります。

次に図書館の事業について説明いたします。

10 ページをご覧ください。

「図書館運営管理経費」において、令和 3 年度の寄付金により購入した館内備品を活用して、3 階に閲覧・学習スペースと一体化した参考資料室を整備し、図書館の利用促進と蔵書の充実を図ってまいります。

本説明に係る主要施策については、12 ページから 22 ページとなっておりますので、後ほどご覧ください。

以上のとおり、当該補正予算及び当初予算に関する意見について、臨時代理を行いましたので、承認をお願いいたします。

以上となります。

**武田教育長：**ただ今、報告第 16 号について、説明がありました。ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり。)

**武田教育長：**これをもって質疑を終わります。この件について、承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**武田教育長：**異議ないものと認めます。したがって、報告第 16 号については、承認されました。以上で本日の議事は全て終了しました。

次に、事務局から情報提供をお願いします。

**中島参与：**（１）令和４年度教育行政執行方針について、情報提供いたします。

令和４年度教育行政執行方針につきましては、１月の定例教育委員会におきまして承認をいただき、令和４年第１回市議会定例会において教育長より説明を行いました。

全文は別紙の通りであります。

１月の方針案から語句を変更したところがございますが、とくに大きく表現を変更したり、追加したりした部分、２箇所のみ説明いたします。

学校教育では、９ページから１０ページにかけて、新型コロナウイルス感染症対策について、国や北海道の通知に準拠して本市が作成した基本対応マニュアル等に基づき、感染症の拡大防止と円滑な教育活動の両立に努めるという記載にしました。

社会教育では、１１ページから１２ページにかけて、知里幸恵の生涯を描いた一人芝居の鑑賞会を開催すること、（仮称）登別市情報発信拠点施設「ヌプル」において、知里家に関連する資料の展示を企画することを記載しました。あとはご覧ください。

令和４年度も執行方針の具体化を目指した取組を進めてまいりますので、これからも委員の皆様方のご意見、ご指導をよろしくお願いします。

以上でございます。

**近間総務グループ総括主幹：**（２）市内小中学校の令和３年度卒業式及び令和４年度入学式の日程について、情報提供いたします。

情報提供資料の１ページをご覧ください。

市内小中学校の令和３年度の卒業式及び令和４年度の入学式の日程となっております。詳細については説明いたしません、ご確認いただければと思います。

なお、今年度につきましても、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、各学校ともに、開催にあたりましては、来賓の出席をお願いしないこととしておりますので、ご理解いただければと思います。

**中井学校教育グループ学務主幹：**（３）令和３年度登別市全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、情報提供いたします。

情報提供資料の２ページをごらんください。

令和３年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、スポーツ庁の実施要領に基づき、４月から７月に掛けて各学校において実施されました。

令和４年１月に、スポーツ庁から登別市教育委員会に集計結果が送付され、その結果の分析が終わりましたのでご報告するものです。

調査の概要については、資料の2・3ページに記載されているとおりです。

4ページをご覧ください。

体格と肥満度に関する調査の結果です。

一番上の四角で囲まれた部分は、調査結果の概要を、中ほどの表は男子のデータを、下段の表は、女子のデータを記載しております。

データについては、今年度の登別市の数値と、全国平均値50.0に対する相対的な位置を示すT得点を掲載したほか、全国・全道の数値や、登別市の前回調査時令和元年度の数値を参考に併記しております。

小学校では、「身長」は男子が全国平均とほぼ同程度、女子は全国平均をやや上回っています。

「体重」は、男子が全国平均をやや上回っており、女子が全国平均を大きく上回っています。

肥満瘦身傾向については、男子の「高度」「中等度」「軽度」肥満の合計が全国平均を3.5ポイント上回っており、瘦身傾向は全国平均をやや下回っています。

女子では、「中等度」肥満がやや上回っているものの、その他については全国とほぼ同程度となっています。

次に、5ページをご覧ください。

中学校では、「身長」は男女ともに全国平均とほぼ同程度、「体重」は男子が全国平均と同程度で、女子が全国平均をやや上回っています。

肥満瘦身傾向については、男子の「高度」「中等度」「軽度」肥満の合計は全国平均を2.2ポイント下回っています。

女子も全国平均とほぼ同程度であるが、高度肥満の割合は全国平均を0.7ポイント上回っています。

次に実技検査の結果について、6ページから9ページに掛けて記載しております。

6ページをご覧ください。

一番上の四角で囲まれた部分は、調査結果の概要、その下の表は、各種目の成績とその点数を合計した体力合計点などのデータ、その下の縦棒のグラフは、各種目のT得点、その下の横棒のグラフは、良いほうから順にAからEまで5段階で評定した体力の総合評価を表しています。

中段にあります、実技調査T得点（男子）のグラフをご覧ください。

50の横棒のラインが全国平均、左側の棒グラフが全道平均、右側の棒グラフが登別市の平均となっています。

小学校男子では、全国平均と比較して、「反復横跳び」は上回り、「長座体前屈」「20mシャトルラン」はやや上回りました。反対に「握力」は全国平均をやや下回り、「50m走」は下回りました。

体力合計点のT得点は50.3で、前回令和元年度の調査結果をやや下回りましたが、全国平均とほぼ同程度となりました。

次に7ページの中段にあります、実技調査T得点（女子）のグラフをご覧ください。

小学校女子は、全国平均と比較して、「長座体前屈」「反復横跳び」「ソフトボール投げ」は上回り、「握力」「20mシャトルラン」がやや上回りましたが、一方で、「50m走」がやや下回りました。

体力合計点のT得点は51.6で、前回調査結果とほぼ同程度で、全国平均をやや上回る結果となりました。

次に8ページの中段にあります、実技調査T得点（男子）のグラフをご覧ください。

中学校男子は、全国平均と比較して「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」はやや上回り、「握力」はやや下回り、「持久走」は下回りました。

体力合計点のT得点は49.8と全国平均とほぼ同程度の結果ですが、前回調査結果と比べるとやや上回っています。

次に9ページの中段にあります、実技調査T得点（女子）のグラフをご覧ください。

中学校女子は、全国平均と比較して、「長座体前屈」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」は、ほぼ同程度でしたが、「20mシャトルラン」「50m走」などはやや下回り、「上体起こし」「反復横跳び」などが下回りました。

体力合計点のT得点は、48.4で全国平均よりもやや下回りましたが、前回調査結果とほぼ同程度となっております。

次に10ページから17ページは、児童生徒質問紙調査の結果です。

10ページから13ページには小学校、14ページから17ページには中学校に対する質問紙調査の結果を記載しております。

左側に男子のグラフ、右側に女子のグラフを配置しております。

次に、18ページから20ページは、学校質問紙調査の結果です。

左側に小学校のグラフ、右側に中学校のグラフを配置しております。

今年度は、「新型コロナウイルス感染症と運動への取組との関連」として児童生徒質問紙及び学校質問紙の中で取り上げられていたのが特徴で、資料の13、17、20ページにそれぞれの結果を示しています。

児童生徒質問紙からは、新型コロナウイルス感染症の影響前と比べて、「運動やスポーツをする時間が減った」と回答した小学生男子及び中学校女子は、全国平均を下回り、小学校女子は全国平均とほぼ程度、中学校男子はやや上回っていることが分かりました。



一方、学校質問紙からは、「体力が低下している児童生徒が増えた」と回答している割合が小中学校とも全国平均よりも高く、特に中学校で全国平均を上回っていることがうかがえました。

また、小学校では、「積極的に運動する児童が増えた」と回答している割合が全国平均を上回り、「肥満の児童が増えた」と回答している割合が全国平均を下回っていること、反対に中学校では、「積極的に運動する生徒が増えた」と回答している割合が全国平均と同程度であるが、「肥満の生徒が増えた」と回答している割合が全国平均を上回っていることが分かりました。

なお、この調査結果については、各校長あてに情報提供済で、自校の体力向上プランの策定や体育科の授業改善等をはじめ、今後の体力向上の取組に役立てていきたいと考えております。

以上です。

**中井学校教育グループ学務主幹：**（４）北海道登別明日中等教育学校 市内小学校受検状況について、情報提供いたします。

別冊資料の２１ページをご覧ください。

今年度本市では５６名が受検し、昨日時点で４３名合格となっており、全員入学の意思を中等教育学校へ伝えております。

また、入学辞退者が出た場合は入学予定者の追加が行われまして、既に本市でも１名の追加合格があったところです。

この追加は今月２５日（金）までとなっておりますので、今後の状況によっては合格者が多少増えるかもしれません。

以上です。

**中島参与：**（５）市内小中学校における新型コロナウイルス感染症の対応について、情報提供します。

オミクロン株の流行により、１月２１日から全道域で対策レベル２の対応をとることになりました。

現在は、まん延防止等重点措置の期間も延長されていますので、市内小中学校でも引き続き、感染症対策の徹底と教育活動の両立に力を注いでいます。

まず、教科の活動ですが、音楽の授業などでは合唱、リコーダー、鍵盤ハーモニカの演奏、家庭科では調理実習、体育の授業では近距離で組み合う運動などの実施を見合わせています。

卒業式については、保護者の参加人数に制限は設けず、体育館で１ｍ程度の間隔を保つこと、呼び掛けや合唱などは行わず、ＣＤ演奏や映像を流すなど、感染症対

策を徹底すること、在校生の参加については、学校規模に応じて校長が判断することとしています。

中学校については、重点措置の終了まで部活動を中止しています。

ただ、このような中でも全道・全国大会を開催している競技がありますので、その参加資格を有している生徒については、大会2週間前から練習できるものとし、PCR検査を受けることや大会参加後3日間は登校を控えるなどの対応をとることとしています。

部活動中止に伴って、少年団活動の自粛をお願いするとともに、学校開放事業も停止をしています。

5月に実施を予定している中学校の修学旅行については、旅行中に生徒が陽性となった場合、公共交通機関を利用できないこと、同一行程で行動できないため、保護者に迎えに来ていただくことを考慮して、令和4年度も当初予定の東北地方から道内に行き先を変更して準備を進めています。

さらに、小学校のスキー授業、放課後学習の鬼っ子算数教室、小中学校のフッ化物洗口も実施をとりやめています。フッ化物洗口については、まん延防止等重点措置の解除後、準備の整った学校から再開することにしています。

次に、学級閉鎖についてですが、1月下旬から対応が変わることとなりました。

まず、保健所が「疫学調査の重点化」として、濃厚接触者の調査を家庭内に限定し、学校内の調査は学校に任せることにしました。

濃厚接触者を「感染の可能性がある者」としてリストアップする作業について、現在は学校が行っています。

また、「学校で1人でも陽性者が確認された場合は、学級閉鎖を幅広に行うこと」と大きく報道されましたが、実際は「陽性確認＝即、学級閉鎖」とせず、発症日の2日前以降の接触状況に応じて、学校と市教委が協議の上、必要に応じて学級や学年の閉鎖を行っています。

さらに、学級閉鎖の期間は「陽性者との最終接触日の翌日から5日程度」となりました。

最後に、5歳から11歳向けの新型コロナワクチン接種について、保健福祉部から得た情報を提供します。

早ければ3月から開始する予定で、基礎疾患のある児童が優先して接種できるようにしたいとのことでした。

児童はファイザー社製のワクチンを3週間の期間を空けて2回の接種を受けます。また、保護者の同伴が必要となります。

今、基礎疾患のある児童とその保護者向けのチラシを保健福祉部で作成し、近日中に配付する予定です。

私からは、以上です。

**笠井学校教育グループ総括主幹**：本日配付しました資料をご覧ください

標題に「令和4年1月以降（第6波）新型コロナウイルス感染症 児童生徒陽性者一覧」と書いているものです。

この資料は、今年1月以降、昨日までの市内小中学校のコロナ陽性者の状況になります。

資料の1行が1名の陽性者になります。

市内小中学校では、第6波において、1月15日に西陵中学校で1名の陽性者が出て以降、昨日までに28名の陽性者が出ています。

内訳は、小学生18人、中学生10人です。

陽性者発生に伴う臨時休業の対応につきましては、表の右側に記載のとおりとなります。

なお、鷲別中学校の15番、16番、17番は、同じ学級の閉鎖、若草小学校の19番、26番は、同じ学年の閉鎖、20番から23番までは、同じ学年の閉鎖、24番、25番は、同じ学級の閉鎖となっています。

この期間における学級閉鎖は7校で8回、学年閉鎖は3校で4回となります。

私からは、以上です。

**武田教育長**：情報提供案件について、ご意見等ございませんか。

全国体力・運動能力等調査が始まった段階では、北海道が比較的、俊敏性や短距離、反復横跳びが弱いと言われていて、当市もしばらくそのような状況が続いたのですが、小学校でスポーツ支援員を付けている効果はどうか。

**学校教育グループ中井学務主幹**：効果はあります。子どもたちの運動習慣・能力ということもありますけども、全国の子どもたちと比べて、運動することが好きと答えているのは、全国・全道平均より高い数字が出ています。

興味があるうえに体を動かしたら自分はできるということで、「体育は好き」「もう少し運動をしてみたい」というように、運動が好きになって、より身体を動かすようになり、結果として体力が上がっているということは、はっきりとした効果として現れています。

**堅田委員**：体力測定なんですけど、2年間コロナ禍で十分な体育活動ができないし、校外で遊ぶこともできないということ、結構影響があるのかなと思いますが、その関連性はどうか。

**学校教育グループ中井学務主幹**：体力そのものとの関連は、ずばりこうだということは言いにくいのですが、肥満傾向の子どもが増えたということは、あきらかに出ているかなど。それが、体力の向上には繋がらないのですが、少なくとも体格的なもの、少し見られたかなというところが、今回あきらかになったデータかと思っております。

**堅田委員**：それに関連するのですが、肥満傾向の子は、すごいゲームをしているとか、というところまでは分析というか、関連はとれていないのですか。

**学校教育グループ中井学務主幹**：今回の調査の中だけでは、因果関係ははっきりしませんが、全国学力・学習状況等調査と関連させると、確定はできませんが関係はしてそうだというところは、見られます。

**武田教育長**：ほかに、ございませんか。ないようですので、情報提供については、終了いたします。

その他、委員の皆様から何かございませんか。

(「ありません」との声あり)

**武田教育長**：それでは、すべての案件が終了しましたので、最後に3月の教育委員会の開催日について予定したいと思いますが、次回の開催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

**近間総務グループ総括主幹**：定例の教育委員会につきましては、毎月最終木曜日に開催しておりますが、3月については、最終木曜日が3月31日、年度末となりますので、その1週前の3月24日木曜日16時30分からと考えております。

**武田教育長**：それでは、事務局より提案のありました3月24日木曜日16時30分で皆様のご都合は如何でしょうか。

(「大丈夫です」との声あり)

**武田教育長**：では、決定とさせていただきます。詳細につきましては、後日事務局よりお知らせ願います。

以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。